



世帯数 6,209 戸
人口 13,666 人
(令和 6. 7. 1 現在)

ウォーキング大会に参加したよ

家庭菜園好きの専業主夫が、参加賞のクオカードに惹かれ、第4回寿地区ウォーキング大会に参加しました。誰か？の行いが良かったのか、曇り空、雨も降らずに涼しく、運動するには非常に良い天気でした。

80名ほどの参加者のウォーキング。歩く中、地区内に点



準備体操の様子



会話を楽しむ参加者

在する畑が気になって、つい眺めてしまいました。皆さん良く手入れされており、参考にしたいと思う畑がたくさんありました。私の畑がはずかしい限りです。新緑の季節、黄緑や薄緑と同じ緑色でも同じ色はほとんどない。当たり前ではあるが、歩く事で気づ

かされることもあり、自然豊かな寿地区の再発見をする時間でもありました。

ひとりでの参加でしたが、約2時間で1万歩すこしほどの楽しい時間でした。スポーツ委員や安協の役員の方々のおかげで無事にウォーキング大会を完歩しました。他のコースも歩いてみたいと思いますが、安全に歩けそうないです。

次回も、参加賞めあてに参加したいと思っています。

【館報編集委員 須山寿雄】



参加賞を受け取る様子



誰が作るの？この誌面



令和6年度 寿地区館報編集委員

みなさんは本誌【公民館報まつもと】の『寿版』はどんな人が製作していると思いますか？

市役所の職員さん？

新聞記者さん？

この誌面は寿地区12町会より各1名ずつ選出された「館報編集委員会」が作製しています。今回は私たち館報編集委員会の紹介をしたいと思います。

委員の編成は、寿公民館長、寿公民館主事が事務局として入りますが、主に記事を作製するのは12名の館報編集委員です。2か月に1度編集会議で次号に載せる記事の編集と校正を行います。さらに次々号に載

る記事内容を決定し、取材を行う委員の割り当てを行います。委員はそれに沿って取材をし、記事の執筆を行います。記事は寿地区内や寿公民館で開催される行事に参加して記事にすることが多いです。

また担当町会の委員が、自身の町会に関する人物や行事、史跡などの紹介を通じて町会をPRする『わがまち○○』にも力を入れています。

「寿地区では、こんな事が行われているのか」「他の町会の事がわかった」など、みなさんに興味を持っていただけるような記事にしていきたいと思っています。

委員は取材時に腕章もしくはネー

ムホルダーをつけていま

す。取材

時などは

ご協力の



程よろしくお願いたします。

【館報編集委員 板野寛明】

わがまち赤木山 〔赤木町会〕



私たちが暮らす赤木町会には「信濃あじさい寺」として有名な「赤木山弘長寺」(アカギヤマコウチョウジ)があります。



ここ数年多くのメディアなどにも取り上げられて、花の見頃を迎える時期には多くの来場者が訪れる人気の『映えスポット』です。

あじさい寺としては昭和55年に檀家の方々が庭園を整備したことが始まりで、現在では約90種類、およそ一千株のあじさいが植えられています。あじさいの大きさは、腰の高さくらいが一般的ですが、大人の背丈を超える大きな株や「これもあじさい?」と思わず口に出してしまうような形の花もあります。

株の根元には名前の立て札が設置されていて、白富士、東雲(しのめ)といった和風な名前や、スノーフレック、ピンクアナベルなど



ど洋風な名前もあり、株だけでなく名前でも楽しむことが出来ます。

本堂の周りには順路を示す案内板が設置されているので、その通りに進めばたくさん種類のあじさいを見ることが出来ると思います。本誌発行時には、見頃が終わっているかもしれませんが、境内を散策するだけでも心が落ち着く気がします。そして来年はぜひ満開のあじさいをみなさんに見てもらいたいです。

【館報編集委員 板野寛明】

寿公民館視聴覚委員会主催

「春の撮影講座」

寿公民館視聴覚委員会主催の「春の撮影講座」ということで「上田城」と「懐古園」を訪れました。



【懐古園】

時々暖かい風と共に満開の桜が舞っていて、春を感じることができました。



【上田城】

【寿公民館視聴覚委員長

室賀 正】

寿公民館体育委員会主催

「春のバスウォーキング」

当日は残念ながらから天候に恵まれなかったものの、長短2コースに分かれてウォーキングを楽しむことができました。



【大町温泉郷】

【寿公民館体育委員長

林 啓】

